男が産めるのうんこだけ？
ー見えない壁の向こう側ー

Is excrement the only thing men can give birth to?
-Beyond the invisible wall-

鳥山ゼミ
チーム〇んこ（じゅんこ）

街頭スピーチが炎上！？

2025年3月9日、国際女性デーに合わせて、市民団体「フェミブリッジ・アクション東京」が新宿駅前でジェンダー平等を訴える集会を開催した。その中で安保法制廃止や女性の権利拡大を掲げる市民連合は、選択的夫婦別姓制度の導入などを求め、ラップ調のパフォーマンスなどを行った。
しかし、主催メンバーが「男は黙れ」「男が産めるのうんこだけ」といった不適切な表現を連呼したことで、SNS上で「男性蔑視」「ヘイトスピーチだ」と批判が殺到。女性側からも「産めない女性を排除している」との声が上がり、賛否を呼んだ。

産む、産まないは
私が決める！
男が産めるのうんこだけ！

「女性の権利拡大」 という目的にこの発言は<u>効果的なのだろうか？</u>

検証ワーク

求められる「女らしさ」「男らしさ」

近年、X（旧Twitter）などを中心に恋愛に関する男らしさ・女らしさが度々話題になります。

例：おごりおごられ論争

デートに行った際に男性が奢るべきなのか、そうでないのか。SNS上で男女対立を引き起こしている。

男：なんでおごらなきゃいけないの？

VS

女：女性は身支度にお金がかかるんだからおごってくれ！

他にも…

男らしさ：告白するべき
経済的に支える
守る・助ける

女らしさ：受け身であるべき
外見やしぐさに気を配る
相手を支える・尽くす

芸能人で考えてみよう

結局問題は？

男女差別を解決するために　**男 VS 女**　で戦っていること

人には様々な属性（指標）があり、性別はその中の一つに過ぎない
⇒「男だから」「女だから」と決めつけるべきではない

てことは…？

本当に戦うべき相手は男ではない。思い込みだ！

社会には「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」のような社会的期待が存在する。しかし、必ずしも男性が優位に立っているわけではない。
「男が上で女が下」だと思い込んでいることが原因で、知らないうちに男性優位な社会を作り上げている。

● 「男が産めるのうんこだけ」の問題点

男女というカテゴリでお互いを敵味方として見ていること。このスローガンでは男女対立を強化してしまう可能性がある。
⇒ 本当の男女平等を実現させるために必要なのは、男性を責めることではなく、思い込みをなくすこと。

誰でも産めるようんこなら

参考文献
産経新聞（2025.3.13）「男は黙れ」「男が産めるの･･･だけ」新宿フェミ集会波紋、福島氏参加も事務所は取材拒否https://www.sankei.com/article/20250313-MXBZCNWGNBHGHETSA7GKQGRKNU/photo/6HVWTA6ZAFB2LJH3O4RDMIXA5M/
総務省統計局（R4.8.31） 令和3年社会生活基本調査 生活時間及び生活行動に関する結果 https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/pdf/gaiyoua.pdf
市民連合事務局（2022.2.22） 市民連合とは https://shiminrengo.com/about